

第 63 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2016 年 5 月 20 日（金） 15:00～17:00
2. 場 所：東京理科大学 森戸記念館 第 2 会議室
3. 出席者（役職順/所属順、敬称略）
（日高 邦彦）議長、（石川 孝重）副議長、（石橋 邦夫）幹事、（真木 康守）幹事、
（札幌 順）幹事、（丸山 信）委員、（本間 重一）委員、（橋本 義平）委員、
（中野 智仁）委員、（三木 哲也）委員・アドバイザー、（吉開 範章）委員、
（鶴原 稔也）オブザーバ、（山本 一彦）事務局、（木暮 賢司）事務局

4. 議題

- ①前回議事録(案)について（審議）
- ②今年度の体制の再確認について（審議および報告）
- ③委員等の交替について（報告）
- ④2016 年度公開シンポジウムについて（審議）
- ⑤最新WEB掲載実績（協議会活動内容、各学協会資料等）（報告）
- ⑥会員活動報告について（報告）
- ⑦次回第 64 回以降協議会日程について（再確認および決定）
- ⑦その他

5. 議事

①前回議事録案の確認と審議

一部、表現について細部の修正（再審議不要）することで原案は承認された。

②2016 年度の体制についての審議

<日高邦彦>新議長（電気学会）、<石川孝重>新副議長（建築学会）、<石橋邦夫>幹事（電気学会）、<真木康守>新幹事（建築学会）、<札幌順>幹事（日工教）の新体制が了承された。

③委員交代についての報告

電子情報通信学会、事務局について委員交代が報告された。

④2016 年度公開シンポジウムについて審議した。

★日程については、2016 年 11 月 22 日（火）（10 時～17 時を予定）、場所は東京理科大 森戸記念館 第 1 フォーラム（地下 1 階）とする。

★テーマは、「科学技術と社会をどう結びつけるか」を仮題とし、講演者（課題提供者）の人選を進める。

⑤日本工学会技術倫理委員会 HP への新規掲載実績を報告した。

1) 日本技術士会 第 8 回技術者倫理シンポジウムの開催案内

2) 土木学会 「土木技術者の倫理を考える-3.11 と土木の原点への回帰-

⑥次回第 64 回以降協議会日程について審議した。

★次回、第 64 回協議会 7 月 12 日（火） 15:00～17:00 森戸記念館

⑦会員活動報告について（報告）（技倫資料 63-7）

・以下の表のように報告があった。

特記；

今回、建築学会から「建築倫理に関する教育ツール」を建築学会 HP で公開されたことについて報告があった。

	学協会名	報告概要
1	電気学会	<p>1) 4月20日に2016年度第1回倫理委員会教育WGを開催。 ①新年度メンバーと年間スケジュール、2016年8月実施予定の「技術者倫理研修会」のテーマなどを審議。 テーマとして【(他分野に学ぶ)安全とコミュニケーション】を仮題とし、例として、BSE問題や食品添加物など食品分野での取組を知ることによって電気学会分野では何に取組んでいくべきか考える、という主旨とする方向となった。 ②事例集(第2集)の英訳事例のウェブ公開について親委員会である倫理委員会で検討することとした。 ③世界工学会議(2015/11/29~12/02)での各テーマ予稿集DVD閲覧の紹介があった。</p> <p>2) 平成28年電気学会表彰受賞 教育WG活動である「事例集の作成とその活用」に関し、主査である大来先生(金沢工業大学)が、代表として第19回優秀技術活動賞 グループ著作賞を受賞した。</p> <p>3) 6月30日予定の倫理委員会での講演会は、元キャノングローバル戦略研究所の氏田殿によるレジリエンスに関する講演を予定。</p>
2	電子情報通信学会	<p>1) 4月11日に倫理委員会を開催し下記の理事会報告事項について審議した。 ・事例集検討小委員会活動報告(web上での事例公開をめざし事例案の具体化と精緻化を行う。) ・技術倫理協議会への本会からの派遣委員交替。</p> <p>2) 4月19日理事会にて、上記、報告案を了承。</p> <p>3) 5月12日に第9回事例集検討小委員会を開催した。 ・5件の事例集シナリオ案について検討した。</p>
3	土木学会	<p>1) 5月11日、国土交通省関東地方整備局技術者倫理講習会講師派遣。</p> <p>2) 7月7日、日本学術会議主催安全工学シンポジウム2016パネリスト派遣予定(テーマ技術倫理)。</p>
4	日本化学会	特記なし
5	日本機械学会	今回の期間では活動なし
6	日本技術士会	<p>1) 倫理委員会を4月に開催し、以下の事項を検討・審議。 ①'16年5月17日(火)午後、学士会館で開催する「第8回技術者倫理シンポジウム」(テーマ「科学技術と社会の関わり～トランスサイエンスと技術者倫理～」)の準備状況と実施要領等を確認。 ②綱領小委員会は、最近のトラブル・不祥事例4例(血液製剤法人</p>

		<p>の不正製造・偽装、肥料表示偽装、免震清掃ゴム性能偽装、マンション杭打ち工事不正)の内容を検討し、「技術士倫理綱領」「技術士倫理綱領解説」への反映・修正要否を検討中。</p> <p>③情報小委員会は、11月初旬開催の第43回技術士全国大会(横浜市)での「技術者倫理ワークショップ」の企画内容を検討。</p> <p>2)「倫理教育検討WG」を4月に開催し、テキスト「大学講義 技術者の倫理入門(第4版)」と日工教・技術者倫理調査研究委員会の「モジュール型シラバス」を対比・検討し、主に技術士が講師を務める技術者倫理講座の教材の構成等を検討。ほぼ構成を固め、次回以降は具体的な内容検討を進める。</p> <p>3)月刊「技術士」に「技術者倫理啓発活動」シリーズ(’15/8月号～’16/8月号)として、統括本部・8地域本部の活動を掲載中。次のシリーズ企画は、日工教・技術者倫理調査研究委員会の「モジュール型シラバス」を基にした「新たな技術者倫理教育に向けて」(仮題)を企画中。</p> <p>4)5月17日(火)、予定通り「第8回技術者倫理シンポジウム」(テーマ「科学技術と社会の関わり～トランスサイエンスと技術者倫理～」)を学士会館で開催した。</p>
7	日本原子力学会	<p>(前回分を含む)</p> <p>1)1/20,3/10,5/12に委員会を開催</p> <p>2)2016年3月に倫理事例集「原子力分野の事例に学ぶ技術者倫理」を発刊した。</p> <p>3)2016年秋の大会(久留米)における企画セッションを検討している。(9/7～9/9)</p> <p>4)2/22に倫理研究会を開催。</p> <p>元原子力安全委員会委員長班目春樹氏を招き「技術者倫理の今」と題して、使用済燃料輸送容器のデータ改ざん、東京電力福島第一原子力発電所事故と原子力技術者の倫理について考究した。</p> <p>5)3/27に原子力学会春の年会(東北大学)において企画セッション開催</p> <p>東北電力殿(電力ネットワーク本部及び女川原子力発電所)より、「東日本大震災における技術者としての矜持とリーダーシップ」題して、震災時の対応から技術(者)倫理を考究した。</p>
8	日本建築学会	<p>1)2015年4月に「建築倫理に関する教育ツール」を本会HPで公開(http://www.aij.or.jp/jpn/comm/rinri/tool/)。</p> <p>2)2015年度日本建築学会大会(関東)において「建築における専門家倫理—倫理綱領改定と倫理教育の実践—」を開催。</p> <p>3)倫理委員会拡大委員会「公開研究会:技術者倫理から考える基礎杭工事問題」を来る5月23日(月)13:30から本会会議室で開催予定。</p>

9	日本工学アカデミー	特記なし
10	日本工学教育協会	<p>1) 科研費1年延長し、引き続き学習・教育目標2016、モジュール等仕上げ.</p> <p>2) 第64回年次大会にてオーガナイズドセッション「技術者の倫理的問題解決のためのコミュニケーション」開催予定, 9/5-7@大阪大学.</p> <p>3) The World Engineering Education Forum & The Global Engineering Deans Council 2016 (WEEF & GEDC) にてセッション「Engineering Ethics Education in a Globalized World」提案, 11/6-10@ソウル COEX</p> <p>4) 倫理綱領はパブコメを受け、軽微な修正を行い、6/13総会にて決議予定.</p> <p>5) 日本粉体工業技術協会から寄稿依頼あり「研究倫理対応の現状」をテーマに、研究倫理アンケート調査結果を基に委員が執筆予定.</p>
11	日本非破壊検査協会	特記なし
12	日本マリンエンジニアリング学会	特記なし